

人権啓発フェスティバル

2022

オンライン配信

Syoko Kanazawa
Yasuko Kanazawa

金澤 泰子 講演会
かなざわ やすこ

金澤 翔子 席上揮毫
かなざわ しょうこ
(書のパフォーマンス)



講演会

松山市ホームページから、
講演配信サイトへ移動できます



● 詳しくはこちらを検索 ●

松山市人権啓発課

検索

視聴無料

事前申込不要

手話通訳・字幕あり

講師

金澤 泰子

演題

ダウン症の娘と共に生きて
2022年(令和4年)

配信期間

12月1日木 9:00 ~ 12月14日水 24:00

◆「人権啓発フェスティバル2022」の席上揮毫と講演会の様子をオンライン配信します。

◆オンライン配信を視聴するための事前申込等は不要です。

主催 松山市・松山市人権教育推進協議会

金澤 泰子さんからのメッセージ

翔子が生まれたのは今から37年前。中々子どもに恵まれなかった私が42歳の時に授かった初子でしたが、生後52日目にダウン症であることを告知され絶望の淵に立たされました。

そんな中、翔子が5歳の時から書道を教え、17歳の時に日本学生書道文化連盟展で金賞を受賞しました。見えない壁を乗り越えながら、今では幼い子どもや知的障がい者に書を教えるまでに成長しました。

翔子の個展を開催すると、その書を見て涙を流す人が大勢いることに驚きます。どれだけ素晴らしい作品であっても、涙を誘うほど感動を与える書というのは中々ありません。

翔子の書が感動を与えるのは、翔子の純粋な魂を感じられるからなのではないかと考えています。彼女には競争も、他人との比較も、地位や名誉などの欲望も一切ありません。いつでも慈愛に満ちあふれ、100%豊かな時間を生きています。翔子のおかげで、私も世俗の価値観で生きなくなり、人間の本質を考えるようになりました。今では、許せないものは全くなくなりました。生きている人は皆尊いと思えるようになったのです。

講演では、2人で共に歩んできた道のりを振り返りながら、辛かったこと、嬉しかったこと、そして最近始めた翔子の1人暮らしの様子などをお話しします。

講師プロフィール

金澤 泰子

(かなざわ やすこ)

金澤翔子の母。
1943年生まれ、明治大学卒業。
書家 柳田流家元に師事。
1990年 東京都大田区に「久が原書道教室」を開設。
主な著書として
『天使の正体』（かまくら春秋社）、
『心は天につながっている』（PHP研究所）、
『涙の般若心経』（世界文化社）その他多数。
久が原書道教室主宰。東京芸術大学評議員。
日本福祉大学客員教授。



金澤 翔子 (かなざわ しょうこ)

1985年 東京都目黒区に生まれる。
5歳で母の師事で書を始める。
2005年 20歳、銀座書廊で初個展。
2009年 鎌倉建長寺、京都建仁寺で個展開催。
(以後毎年開催)
2011年 奈良東大寺で個展開催。
福島に「金澤翔子美術館」を開設。
2012年 NHK・大河ドラマ「平清盛」揮毫。
2013年 銀座に「銀座金澤翔子美術館」を開設。
熊野大社、厳島神社で奉納の揮毫。
ニューヨーク国連本部でスピーチ。
日本福祉大学客員准教授。
文部科学省スペシャルサポート大使。
東京オリンピック公式ポスター制作アーティスト。